

# ひろかだより

第397号

令和7年8月21日

発行  
弘果  
弘前中央青果株式会社  
津軽のうまいがここにある



弘果(8月2日開市市況)

| 品種 |        | 高値     | 中値     | 安値    |
|----|--------|--------|--------|-------|
| 花祝 | 令和7年度  | 59,400 | 10,800 | 7,560 |
|    | 前年比(%) | 183.3  | 100.0  | 100.0 |
| 祝  | 令和7年度  | 9,720  | 6,480  | 5,400 |
|    | 前年比(%) | 128.6  | 100.0  | 125.0 |
| 夏緑 | 令和7年度  | 10,260 | 6,480  | 5,400 |
|    | 前年比(%) | 118.8  | 109.1  | 100.0 |

## りんごの日焼けにご注意

今後も高温で、  
強い日差しが続く  
と予想されます。  
樹上で日の日焼け  
の他、収穫後から  
運搬時の直射日光  
による日焼けの発  
生も懸念されます  
ので、油断せず対  
策を講じるように  
お願ひいたします。

午前8時30分から行われた開市には買參人約200人、生産者約600人が来場しました。競売前に行われたセレモニーでは、葛西静男社長の挨拶、弘果りんご買參人共進会葛西翁博會長の音頭による手締め、弘果りんご連絡協議会須藤恵司会長による乾杯が行われた後、競売に移り、上場された1889箱(前年比70.4%)が競り落とされました。

午前8時30分より行われた開市には買參人約40人、生産者約650人が来場しました。競売前に行われたセレモニーでは、八木橋宏弥社長による挨拶、津軽りんご市場暉峰会竹谷保会長の音頭による手締め、津軽りんご市場連絡協議会小関清一郎会長による乾杯が行われた後、競売に移り、上場された776箱(前年比62.5%)が競り落とされました。

午前8時30分より行われた開市には買參人約40人、生産者約650人が来場しました。競売前に行われたセレモニーでは、八木橋宏弥社長による挨拶、津軽りんご市場暉峰会竹谷保会長の音頭による手締め、津軽りんご市場連絡協議会小関清一郎会長による乾杯が行われた後、競売に移り、上場された776箱(前年比62.5%)が競り落とされました。

| 品種 | 高値     | 中値     | 安値    |
|----|--------|--------|-------|
| 花祝 | 19,440 | 10,800 | 7,560 |
| 祝  | 9,180  | 7,020  | 5,400 |
| 夏緑 | 7,560  | 6,480  | 5,400 |

津軽りんご市場(8月2日開市市況)



## 花き部 花育活動

弘果花き部では、「青森県花のくづくり推進協議会」の花育体験、園芸体験の一環として、花をもつと身近に感じてもらおうと様々な場所で休験学習を開催しています。

この「花育活動」と弘果りんご連絡協議会婦人部の夏期研修が協同した「フラワー・アレンジメント教室」が7月29日、弘果大会議室で開催され、20名の部員が参加しました。

研修では、リンドウやヒマワリ、カーネーションなど多種多様な季節の花を使用したフラワー・アレンジメント制作にあたり、講師がひとつひとつ丁寧に解説・実演しました。参加者は講師のアドバイスを聞き、熱心に思い思いの作品を作り上げていました。

弘果りんご連絡協議会婦人部長の福士すみえさんは「フラワー・アレンジメントは初めてでした」と話していました。そして、上手にできて良かったです。これから花買う機会がもっと増えそうです」と話していました。

トレサビセンター混雑状況配信します!!

【お問い合わせ】 0172-(29)4184

【時間】 8時～17時

【場所】 弘果及び津軽市場トレサビセンター

【詳細】 事前にご記入の上、書類を一式持参して下さい。  
※休市日は休みとなります。但し、8月27日、9月3日はトレサビセンターのみ臨時営業致します。

【ご活用下さい】 混雑状況緩和の為、WEB登録も

【QRコード】

私が旬ピーマン

生育について「高温少雨」が生育に大きな影響を及ぼし、収量は昨年同時期の半分くらいにとどまっています」と話し、今後のピーマン栽培の展開について「りんご栽培で使っている肥料を用いる等、土づくりを工夫しています。また、大きなサイズのピーマンについて、そのサイズ感を活かす

大鰐町居士の中嶋さんは約40坪の園地でピーマンを栽培しており、7月下旬から収穫が始まっています。中嶋さんが栽培するピーマンは、高温下でも果色があせにくく、黒アザ果や変形果が少ない「京まつり」という品種で、極濃緑の果色と秀品率の高さが特徴です。中嶋さんは今年の

大鰐産ピーマンの認知度向上に向けて取り組んでいきました。

ピーマン栽培に意欲的に取り組む中嶋さん

ことでブランド化を図ることで、大鰐産ピーマンの認知度向上に向けて取り組んでいきました。

## 農業の未来を拓く！新規就農者



**福田 真由美さん(40)**  
**[園地所在地]** 東津軽郡蓬田村中沢  
**[作付状況]** 森のひかり(夏秋いちご)・約29kg(2千株)  
**[就農年]** 2025年  
**[きっかけ]** 仕事を家庭(子育て等)を両立する生活を続けていましたが、家族との時間を優先させるため、仕事を辞めました。そんな

農業に大きな夢と希望を抱いて就農した人にスポットを当て、紹介します。農業の未来を切り拓く就農者を弘果グループは応援します。

**折、ママ友であるミニトマト農家から声をかけていた** たま、アルバイトとして農業に携わることになりました。実際にみると、農業が思いのほか楽しく、自分に向いていると感じ、農業に興味が湧いてきました。やがては自分で農業を営みたいと考えるようにな

**立していけるのではないかと考** り、ネットで「女性・一人・農業」と検索したところ、女性の園主が営むいちご農園がヒットし、その内容を見ていく内に、**仕事(農業)と家庭を上手に両立していけるのではなか?** うえ、いちご栽培に照準を絞りました。幸い、蓬田村内で夏秋いちごを栽培し、師匠と仰いでいる生産者のもとで研修できるこ

**とになり、アルバイトと並行して研修を行いました。** そして、村内でハウスを借り、いちご生産者として第一歩を踏み出しました。

**【現在】** 夫をはじめ、家族の協力があつて始めることができましたが、栽培管理に思いのほか時間がかかり、ベースをつかみ軌道に乗せるまでは、まだ迷惑をかけてしまうかも知れません。家族の存在は私の原動力なので、仕事を家庭を両立させ、いちごと家族に目一杯の愛情を注いで頑張っています。また、師匠が弘果へ出荷してお

り、そのきっかけで弘果とつな

**【座右の銘】** 「人の感情を揺さぶりたいなら、自分も絶対本気で行かないといけない」 私の大好きな歌手である「A.I.(アイ)」さんの言葉です。彼女の心に響く歌は、聴いている人と本気で向き合っていることだと知り感銘を受けました。いちご農家として駆け出しの私もまた、仕事、家庭、そして人

## りんご集荷場オープンのお知らせ

### 津軽市場

**【期間】** 9月1日～11月25日  
**【休み】** 休市日の前日

**【時間】** 午前9時～午後6時

**五所川原集荷場** 080-6051-5242  
 福山 ※北都観光本社倉庫そば

**【時間】** 午前10時～午後6時

**鶴田集荷場** 080-5744-5050  
 回堰 ※水元保育園そば

**鰯ヶ沢集荷場** 080-5744-5048  
 建石 ※旧建石小学校敷地内

**NEW**

### つがる市柏集荷場

080-5360-8056



### 弘果

**【期間】** 9月1日～11月30日  
**【時間】** 午前10時～午後6時  
**【休み】** 休市日の前日

**小沢集荷場** 090-7529-3736  
 ※アップルロード沿い

**日屋集荷場** 070-2022-1905  
 中野 ※山福アップル敷地内

**岩木集荷場** 090-1398-1415  
 熊嶋 ※小山内タイヤ商会隣

**浪岡集荷場** 080-1833-1461  
 女鹿沢小学校前

**大鰐集荷場** 080-3149-3657  
 蔵館 ※国道7号線沿い・北伸工機隣

**十面沢集荷場** 080-4411-8759  
 旧修齊小学校跡地

**平賀集荷場** 080-5224-7684  
 ホーマックススーパーデポ平賀店向かい

**鬼沢集荷場** 090-2988-2855  
 鬼沢 ※株丹藤鬼沢SS・北部配送所隣



豊作祈願祭が行われた後、大会の幕が上がりました。

特設会場には約1600名の観客が集まり、出場した団体仮装の部22組、団体踊りの部3組、個人仮装の部7名が、「どだればち」の生演奏に合わせて踊りました。

場者は、趣向を凝らした衣装を身にまとった踊りや合間にパフ

い、日頃から練習した結果に一喜一憂しました。

過ぎ行く津軽の夏を楽しんでいました。



踊り大賞  
「さざんか」

仮装大賞  
「ダンボール王国の王妃」

## 選果機を使用した信頼の品質

### つがりんピーチ

当社オリジナルブランドのつがりんピーチは、選果機を使用して糖度・着色・内部障害を測定し、各等階級に選別して販売しています。

つがりんピーチについて果実部担当者は「近年は津軽地域が桃の栽培に適するようになりました。今年は温暖化の影響で津軽地域が桃の栽培に適するようになります。今年は平年より出荷が遅っていますが、糖度は高く仕上がりができます。弘果の栽培指標、出荷・販売面でのサポートが非常に心強く、私の農業経営において非常に頼りにしています。

【夢・展望】今は土耕栽培をしていますが、近いうちにハウスを増やし、高設栽培にチャレンジしていきたいと考えています。コストや技術面での課題がありますが、土耕栽培と併せて、安定的で高品質ないちご栽培を目指し、弘果いちご栽培研究会員で高設栽培に取り組んでいる方のことで、是非とも勉強させていただきたいと思っています。

【かね】「さくら白桃」の7品種で構成され、早生種の「あかつき」が8月1日から選果「だて白桃」「幸あかつき」と「みさと」「まどか」「川中島白桃」が8月1日から選果

ます。

弘果りんご連絡協議会(須藤恵司会長)では7月22日加入組合の代表を対象に情報交換会を開催しました。交流を目的とした地域生産販売交流会をアートホテル弘前シティにて開催しました。

りんご協会の工藤貴久氏を講師に迎え「葉とらずりんご栽培の可能性」

というテーマで講演会が行われました。「葉とらず」と「葉とれず」の違

いや、今後葉とらず栽培に着手していく上で重要なポイント等、資料をもとに解説し、参加者は真剣な様子で聞き入っていました。

参加した生産者は「講演会での話は非常に勉強になりました。葉とらず栽培の最大の魅力は、剪定から変えていくこと

で、葉摘み作業を省いても美味しいりんごが出来

るところです。年々、人手不足の問題も深刻化

し、それは自分自身でも実感しているので、今後は本格的に葉とらず栽培

に取り組んでいきたいです」と話していました。

りんご協会の工藤貴久氏を講師に迎え「葉とらずりんご栽培の可能性」

というテーマで講演会が行われました。「葉とらず」と「葉とれず」の違

いや、今後葉とらず栽培に着手していく上で重要なポイント等、資料をもとに解説し、参加者は真剣な様子で聞き入っていました。

参加した生産者は「講演会での話は非常に勉強になりました。葉とらず栽培の最大の魅力は、剪定から変えていくこと

で、葉摘み作業を省いても美味しいりんごが出来

るところです。年々、人手不足の問題も深刻化